

2019年度第3四半期決算説明資料

証券コード：5332

2020. 1. 31

目次

1. 2019年度第3四半期決算

2. トピックス

ハイライト

増収減益。

グローバル住設事業（日本）：増収増益

- ◆リモデル、新築ともに増収増益。

グローバル住設事業（海外）：増収減益

- ◆中国は一線都市の市況底打ち、二、三線都市への取り組み強化により増収も、上期業績・為替影響で減益。
- ◆アジア・米州は増収減益。

新領域事業：減収赤字

- ◆セラミック事業は、市況悪化の影響で減収赤字。

2019年度第3四半期決算

P/L概要

単位：億円

	2018年度 3Q累計	2019年度 3Q累計	前年差 (前年比)	為替影響		修正計画	修正計画差 (修正計画比)
				為替 影響額	為替影響除 (前年比)		
売上高	4,322	4,492	+169 (+4%)	▲38	+207 (+5%)	4,491	+1 (+0%)
営業利益 [営業利益率]	302 [7.0%]	299 [6.6%]	▲3 (▲1%)	▲6	+3 (+1%)	283 [6.3%]	+16 (+6%)
経常利益	327	310	▲17 (▲5%)	▲14	▲3 (▲1%)	291	+19 (+7%)
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	223	217	▲6 (▲3%)	▲12	+6 (+3%)	203	+14 (+7%)

■為替レート

	2018年度			2019年度			2019年度 修正計画 ※
	1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q	
1ドル	108.2円	109.1円	111.4円	110.2円	109.9円	107.4円	106.0円
1元	17.0円	17.1円	16.4円	16.3円	16.1円	15.3円	15.0円
1ユーロ	133.1円	130.0円	129.6円	125.2円	123.5円	119.4円	119.4円

※2019年10月31日
修正発表ベース

2019年度第3四半期決算

セグメント別業績

単位：億円

<売上高>	2018年度 3Q累計	2019年度 3Q累計	前年差 (前年比)	修正計画		修正計画差 (修正計画比)
				為替影響額	為替影響除 (前年比)	
住設事業 (日本)	3,130	3,326	+196 (+6%)		+196 (+6%)	▲6 (▲0%)
住設事業 (海外)	961	988	+27 (+3%)	▲38	+64 (+7%)	▲1 (▲0%)
新領域	230	177	▲53 (▲23%)	▲0	▲53 (▲23%)	+7 (+4%)
その他	2	2	+0		+0	+0
合計	4,322	4,492	+169 (+4%)	▲38	+207 (+5%)	+1 (+0%)

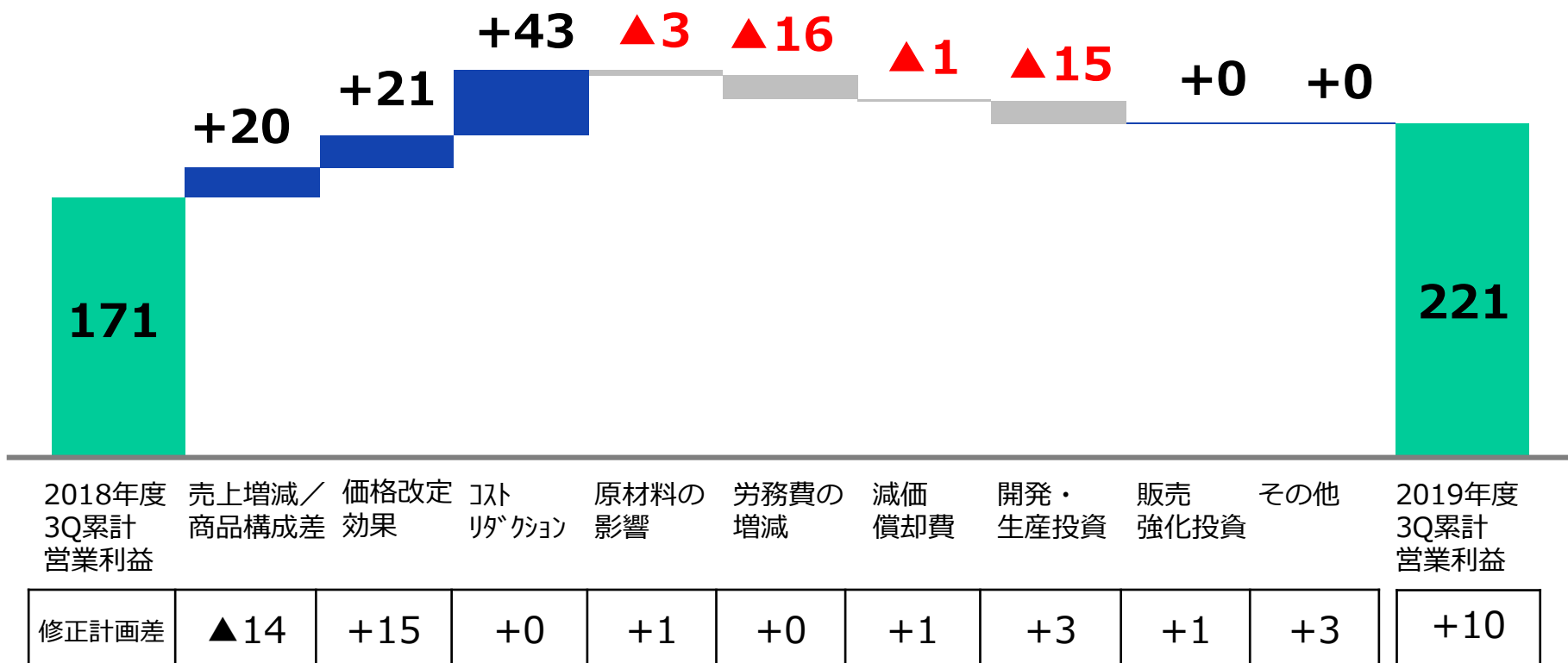
<営業利益>	2018年度 3Q累計	2019年度 3Q累計	前年差 (前年比)	修正計画		修正計画差 (修正計画比)
				為替影響額	為替影響除 (前年比)	
住設事業 (日本)	171	221	+49 (+29%)		+49 (+29%)	+10 (+5%)
住設事業 (海外)	150	112	▲38 (▲25%)	▲6	▲32 (▲21%)	▲1 (▲1%)
新領域	7	▲6	▲14	▲0	▲14	+6
その他	▲27	▲28	▲1		▲1	+1
合計	302	299	▲3 (▲1%)	▲6	+3 (+1%)	+16 (+6%)

2019年度第3四半期決算

グローバル住設事業（日本）

営業利益の増減要因（前年差異+49億円の内訳）

単位：億円



2019年度第3四半期決算

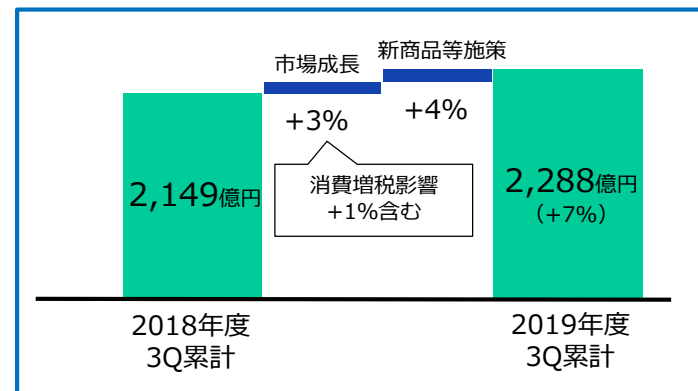
グローバル住設事業（日本）

需要別実績

単位：億円

<リモデル>

	2018年度 3Q累計	2019年度 3Q累計	前年差 (前年比)
売上高	2,149	2,288	+140 (+7%)
営業利益	147	190	+43 (+29%)
営業利益率	7%	8%	+1pt



<新築>

	2018年度 3Q累計	2019年度 3Q累計	前年差 (前年比)
売上高	981	1,037	+56 (+6%)
営業利益	25	31	+6 (+25%)
営業利益率	3%	3%	+0pt

【需要】	2019年度3Q累計	着工
	住宅	▲3%
【売上高】	2019年度3Q累計	合計
	住宅	+2%
	非住宅	+10%

リモデル、新築ともに増収増益。

2019年度第3四半期決算

グローバル住設事業（日本）

商品別実績

単位：億円

	売上高			営業利益		
	2018年度 3Q累計	2019年度 3Q累計	前年差 (前年比)	2018年度 3Q累計	2019年度 3Q累計	前年差 (前年比)
衛生陶器	651	703	+51 (+8%)	49	54	+4 (+9%)
ウォシュレット	701	748	+47 (+7%)	91	101	+10 (+11%)
水栓機器	659	667	+8 (+1%)	32	41	+9 (+28%)
浴室	735	802	+67 (+9%)	14	26	+12 (+84%)
キッチン・洗面	325	351	+26 (+8%)	▲7	6	+13
その他	59	56	▲3 (▲6%)	▲8	▲7	+1
合計	3,130	3,326	+196 (+6%)	171	221	+49 (+29%)

全商品で増収増益。

2019年度第3四半期決算

グローバル住設事業（海外）

単位：億円

売上高	2018年度 3Q累計	2019年度 3Q累計	前年差 (前年比)	為替影響除 前年差 (前年比)
中国	480	496	+16 (+3%)	+45 (+9%)
アジア	218	220	+2 (+1%)	+8 (+4%)
米州	234	243	+9 (+4%)	+10 (+4%)
欧州	29	29	+0 (+1%)	+2 (+7%)
合計	961	988	+27 (+3%)	+64 (+7%)
営業利益	2018年度 3Q累計	2019年度 3Q累計	前年差 (前年比)	為替影響除 前年差 (前年比)
中国	107	76	▲30 (▲28%)	▲25 (▲24%)
アジア	39	36	▲3 (▲9%)	▲2 (▲4%)
米州	14	7	▲6 (▲47%)	▲6 (▲46%)
欧州	▲9	▲7	+2	+1
合計	150	112	▲38 (▲25%)	▲32 (▲21%)

グローバル住設事業（海外）で増収減益。

2019年度第3四半期決算

現地グループ会社の業績（中国）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

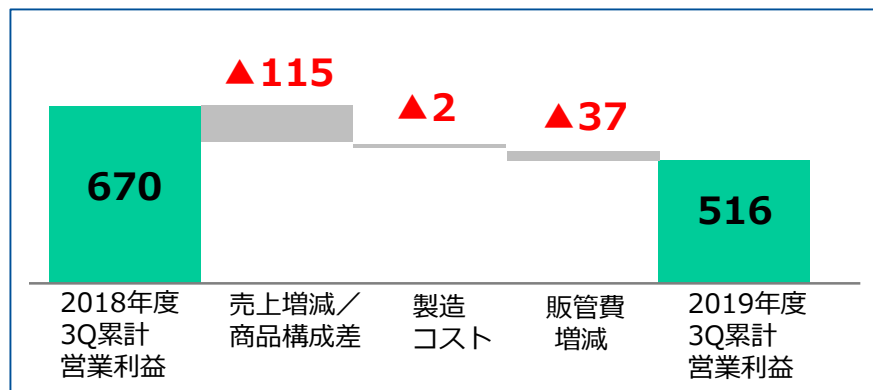
単位：百万元

	2018年度 3Q累計	2019年度 3Q累計	前年差（前年比）
売上高	2,838	3,113	+275(+10%)
営業利益	670	516	▲154(▲23%)
営業利益率	24%	17%	▲7pt

第4四半期(10月～12月)の売上高伸長率は前年同期比+18%

営業利益の増減要因

単位：百万元



為替レート	2018年度3Q	2019年度3Q
1元	16.4円	15.3円

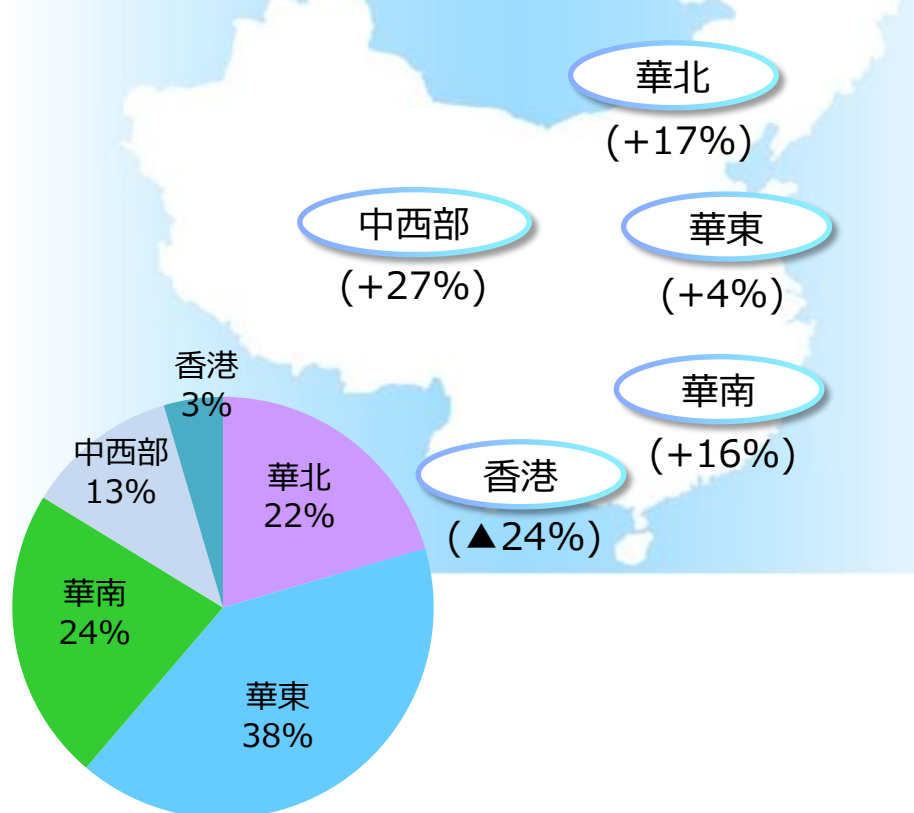
第3四半期累計では増収減益も、第3四半期のみ（3ヶ月）では市況の底打ち・二、三線都市への取り組み強化により、売上高は+28%、営業利益は+6%。また第4四半期売上高は+18%。

2019年度第3四半期決算

現地グループ会社の業績（中国）

■ 地域別の売上高伸長率

中国事業計：+10%(現地通貨ベース)

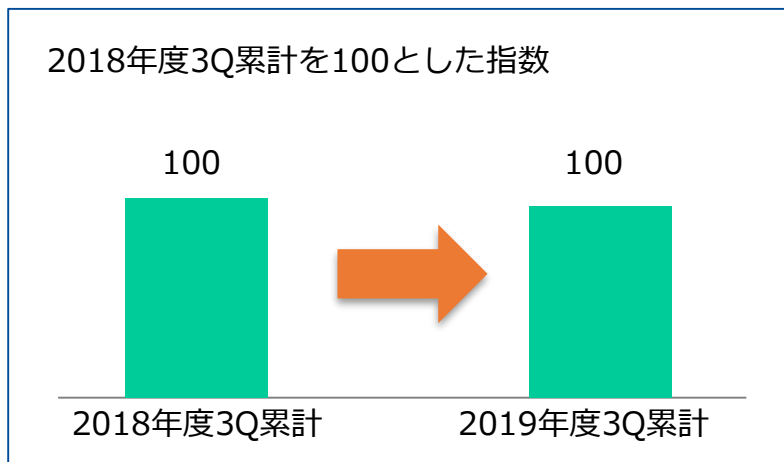


■ 地域別の売上高構成比

■ 商品別の売上高伸長率

	伸長率
衛生陶器	+4%
ウォシュレット	+6%
水栓金具	+28%

■ ウォシュレットの販売台数伸長



ウォシュレット台数は第3四半期で前年同期比+24%

香港以外増収。全商品で増収。

2019年度第3四半期決算

現地グループ会社の業績（アジア・オセアニア）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

エリア別
売上高構成比

台湾	ベトナム	その他
43%	26%	31%

単位：百万台湾ドル

台湾	2018年度 3Q累計	2019年度 3Q累計	前年差 (前年比)
売上高	2,509	2,663	+154 (+6%)
営業利益	599	613	+15 (+2%)
営業利益率	24%	23%	▲1pt

第4四半期(10月～12月)の売上高伸長率は、前年同期比+12%

単位：10億ドン

ベトナム	2018年度 3Q累計	2019年度 3Q累計	前年差 (前年比)
売上高 [外部顧客売上高]	2,397 [1,257]	2,750 [1,228]	(+15%) (▲2%)
営業利益	295	345	+50 (+17%)
営業利益率	12%	13%	+0pt

第4四半期(10月～12月)の外部顧客売上高伸長率は前年同期比+13%、全売上高伸長率は前年同期比+18%

■ウォシュレット販売台数の伸長

2018年度3Q累計を100とした指数



為替レート	2018年度3Q	2019年度3Q
1台湾ドル	3.64円	3.44円

為替レート	2018年度3Q	2019年度3Q
1ドン	0.00478円	0.00460円

台湾は新築市場の回復、ウォシュレット好調等により増収増益。
ベトナムは新商品効果と輸出増により増収増益。

2019年度第3四半期決算

現地グループ会社の業績（米州）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

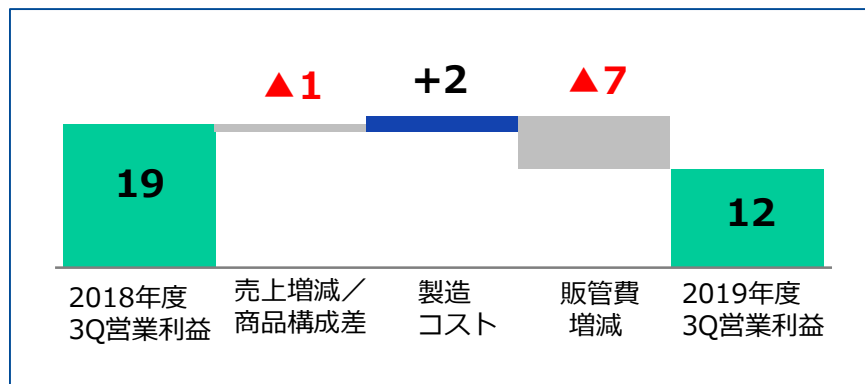
単位：百万ドル

	2018年度 3Q累計	2019年度 3Q累計	前年差(前年比)
売上高	213	222	+9(+4%)
営業利益	19	12	▲7(▲35%)
営業利益率	9%	5%	▲3pt

第4四半期(10月～12月)の売上高伸長率は前年同期比+8%

営業利益の増減要因

単位：百万ドル



為替レート	2018年度3Q	2019年度3Q
1ドル	111.4円	107.4円

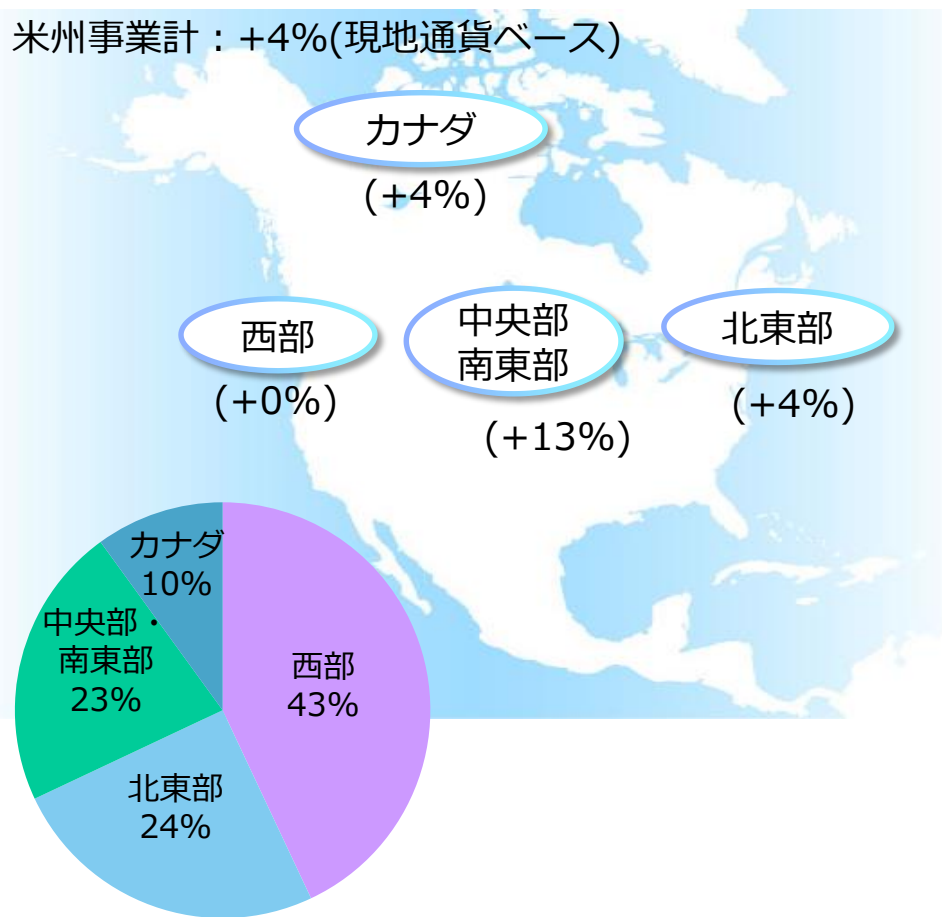
ウォシュレットの好調等により増収も、販促コスト増で減益。

2019年度第3四半期決算

現地グループ会社の業績(米州)

■ 地域別の売上高伸長率

米州事業計：+4%(現地通貨ベース)

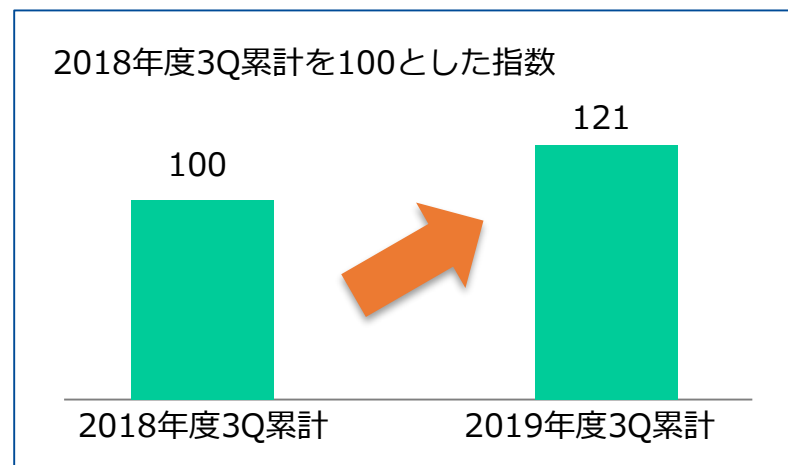


■ 地域別の売上高構成比

■ 商品別の売上高伸長率

	伸長率
衛生陶器	+3%
ウォシュレット	+9%
水栓金具	+1%

■ ウォシュレットの販売台数伸長



全エリアで増収。ウォシュレットが引き続き伸長。

2019年度第3四半期決算

現地グループ会社の業績（欧州）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

単位：百万ユーロ

	2018年度 3Q累計	2019年度 3Q累計	前年差(前年比)
売上高	20	22	+2 (+12%)
営業利益	▲6	▲6	+0

第4四半期(10月～12月)の売上高伸長率は前年同期比▲1%

為替レート	2018年度3Q	2019年度3Q
1ユーロ	129.6円	119.4円

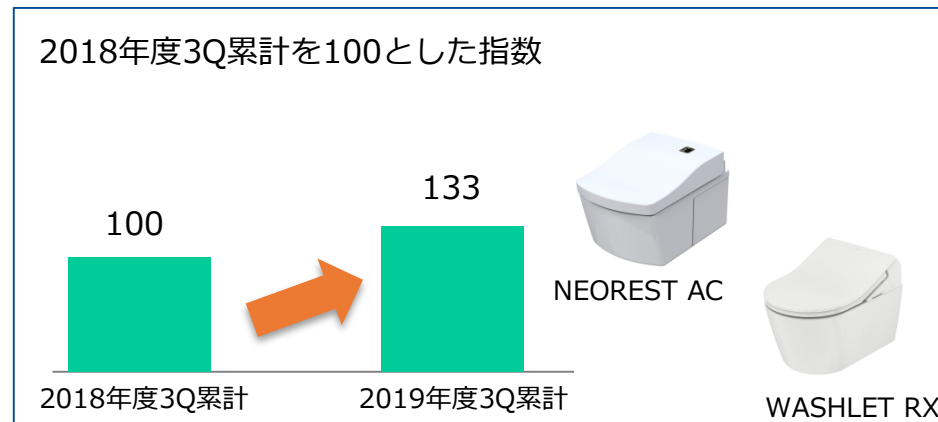
■納入現場事例

The Biltmore Mayfair（英国）



ロンドンの閑静な住宅街、グロブナススクエアにある高級ホテル。WASHLET RXとWASHLET GL が採用。

■ウォシュレットの販売台数伸長



増収赤字。引き続き流通構築と著名物件採用を推進。

2019年度第3四半期決算

新領域事業

セラミック事業

単位：億円

	2018年度 3Q累計	2019年度 3Q累計	前年差 (前年比)	為替 影響額	為替影響除 (前年比)
売上高	171	119	▲52 (▲30%)	▲0	▲52 (▲30%)
営業利益	10	▲2	▲13	▲0	▲13

環境建材事業

単位：億円

	2018年度 3Q累計	2019年度 3Q累計	前年差 (前年比)	為替 影響額	為替影響除 (前年比)
売上高	59	58	▲1 (▲2%)		▲1 (▲2%)
営業利益	▲3	▲4	▲1		▲1

セラミック事業は減収赤字も、下期に入り回復基調。(第3四半期のみでは黒字)

目次

1. 2019年度第3四半期決算

2. トピックス

新生産拠点

■ ベトナム：第4工場（仮称）建設



■ 工場概要

投資金額	約146 億円
生産能力	約107万ピース/年
稼働予定	2022年7月

■ 中国：福建第2工場（仮称）建設



■ 工場概要

投資金額	約153 億円
生産能力	約120万ピース/年
稼働予定	2021年4月

地産地消とグローバルでの供給体制の最適化を踏まえ、新たに2工場を建設。エネルギー効率の高い最新のトンネル窯を採用する等、技術とノウハウを結集した環境配慮型工場を実現する。

新ユニバーサルデザインメッセージ

つくるって、 人を思うこと。

どんな人が使うかを、思う。
その人はどんなことに困るかを、思う。
その人はどうすれば快適かを、思う。
できる限りたくさんの「その人」を、思う。

モノをつくる時、空間をつくる時、
TOTOが最初から最後まですることは、人思い。
すべての人の、よりよい暮らしのために、
とことんすべきことは人思いしかない。
優しさと知恵と技術と努力。

ユニバーサルデザインは、TOTOのすべてです。

ユニバーサルデザインをミッションに掲げて15年。
ユニバーサルデザインのものづくりや提案は
しっかりと根付いている。

オリンピック・パラリンピックをきっかけに
共生社会の実現への貢献が求められる中、
改めてTOTOのユニバーサルデザインに取り組む
姿勢を強く発信。



お客様満足、社会課題への貢献につながる
商品、技術、提案、研究活動



創業から変わらないものづくりの姿勢をメッセージにこめている。

このプレゼンテーション資料は、2020年1月31日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

あしたを、ちがう「まいにち」に。

TOTO